

JIS A 5548 タイプI F★★★★

JAIA 4VOC基準適合

陶磁器質タイル・石材用接着剤 ME-01

官民共同研究品質基準(案)適合品

2液混合形

ME-01はエポキシ基とシラノール基をもった変成シリコン・エポキシ樹脂系の2液混合形接着剤です。硬化後はゴム弾性を示すことにより、下地挙動、材料の膨張伸縮、震動、衝撃などによる応力を吸収緩和し、仕上げ材を守るとともに強靱な接着力を発揮します。



変成シリコン・エポキシ樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物 可燃性固体類

容 量		包装形態	梱包単位
15kgセット	A剤	5kg 缶	1セット
	B剤	10kg 缶	

用 途

適用箇所	屋外(低層建築物)及び屋内の壁面、プール槽内の壁面など	
適用下地	外装	コンクリート、モルタル、窯業系サイディング材
	内装	モルタル、けい酸カルシウム板、合板、FRP、フレキシブルボード、各種金属板
適用仕上げ材	<ul style="list-style-type: none"> ●陶磁器質タイル(300角 厚み15mm以下) ●天然・人造石材(300角 厚み15mm以下) 	

標準使用量

モルタル・乾式下地	1.5~3.0kg/m ²
	5.0~10m ² /15kg
	0.3~0.6m ² /kg

性 質

	A 剤	B 剤
外 観	白色 マスチック状	灰色 マスチック状
主 成 分	エポキシ樹脂	変成シリコン樹脂
混 合 比	A剤 : B剤 = 1 : 2	
可 使 時 間	60分以内 / 23℃ (屋内)	
張付け可能時間	60分以内 / 23℃ (屋内)	
目地詰め可能時間	24時間以上 / 23℃ (屋内)	

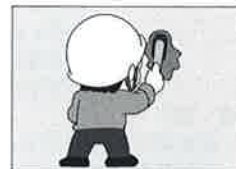
使用方法

【下地の確認】

- コンクリート・モルタル下地
下地は凹凸や不陸のない平滑面とし、浮き水のないことを確認します。
- ボード類下地
タワミのない厚手の材料を使用し、目違いや目地あきのない下地とします。

【下地の清掃】

1. 接着不良の原因となるゴミ・ホコリ・油分・レイタンスなどを取除きます。



【墨出し】

1. 割り付け図面に従い墨出しを行います。

【接着剤の混ぜ合わせ】

1. 接着剤のA剤とB剤を1対2の割合(重量比)になるように取り出します。

チェック：・接着剤を取り出す時はA剤とB剤では別々のヘラを使用して下さい。



- ・B剤は空気中の水分の影響により皮張りを起こしますので、取り出し時以外は蓋をして下さい。

2. 取り出した接着剤を色が均一になるまで、よく混ぜ合わせます。

チェック：・一度に混ぜ合わせる量は可使時間内に使い切れる量にして下さい。
・一度混ぜ合わせた接着剤は保管できません。
・A剤とB剤がよく混合されていないと接着不良や石材への汚染の原因となりますので注意して下さい。

ME-01

【接着剤の塗布】

1. 接着剤は左官ゴテを用いて下地に擦り付けるように均一に塗布します。(3~4mm厚)

チェック：一回の塗布面積は張付け可能時間内に仕上げ材を張り終えることのできる面積として下さい。



2. 接着剤を塗布した後、クシ目ゴテ(右図)を用いてクシ目を立てます。

チェック：厚塗り・塗布ムラ・薄塗りなどは接着不良の原因となります。

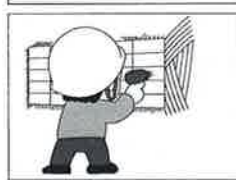
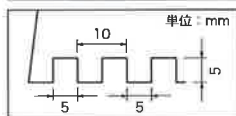


【仕上げ材の張り付け】

1. クシ目を立てた後すぐに仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。

チェック：張付け可能時間は環境により異なります。

2. 仕上げ材はもみ込むようにして張り、裏面全体に接着剤がなじむようにビプラートなどの衝撃機具を使用して十分に圧着します。



3. 約2m²ごとに仕上げ材を1枚剥がし、裏面に接着剤が70%以上付着していることを確認します。

チェック：・接着剤がタイル表面に付着した時は、すぐにシンナーなどを含ませた布で拭き取って下さい。
・目地直しは接着剤が硬化する前(張り付け後30分以内)に行ってください。

【養生】

1. 接着剤を硬化させるため仕上げ材張り付け後1日以上外力が加わらないように養生します。

【目地詰め】

1. 目地詰めを行なう前に仕上げ材のズレがなく、また、接着剤が硬化していることを確認します。

2. 目地部に目地材を充てんします。

チェック：伸縮目地や設備機器との取り合い部には、弾性目地を充てんしますのでセメント系目地材を施工しないで下さい。

3. 表面に残った目地材を拭き取ります。

【端部の処理】

1. 伸縮目地や設備機器との取り合い部には弾性目地を設けます。

チェック：弾性目地が硬化するまでは、ホコリやゴミなどが付着しないようにして下さい。

取り扱い上の注意事項

ME-01を使用する前に以下の項目に注意して下さい。

- 接着用途以外に、絶対に使用しないで下さい。
- 塗装面・ガラス面・浴槽内・常時70℃以上となる所には使用できません。
- 品種の異なる接着剤と混合しないで下さい。
- 一度混ぜ合わせた接着剤は保管できません。(混合物は容器にもどさないで下さい。)
- 5~35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 取扱い場所及び作業箇所は換気頻度を多く行って下さい。(施工中は窓を開け、施工後も日中は4~5日間、常に窓を開ける)
- 可燃性のある成分を含んでいます。使用時・取扱い場所は火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」などに従って下さい。
- 混合物(未硬化物)は皮フに触れたり蒸気を吸入すると健康障害や皮フ障害(カブレ)などを起すことがあります。取り扱い時は保護具を着用して下さい。
- 一度開缶した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗いやウガイ行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は当社営業担当にお問い合わせ頂くか、製品安全データシート(MSDS)またはカタログをご参照下さい。
- ME-01をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

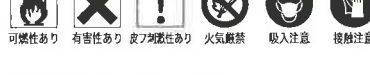
■警告及び注意

A剤



可燃性あり 有害性あり 皮フ刺激性あり 火気厳禁 吸入注意 接触注意

B剤



可燃性あり 有害性あり 皮フ刺激性あり 火気厳禁 吸入注意 接触注意

●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。
●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部/〒453-0067 名古屋市中村区宿勤町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-419-1005

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621		技術開発センター FAX: 0584-89-8111 FAX: 0584-87-0010

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業
◆株式会社イヅカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

0907Mac04